

承認フローの設定方法

-派遣先-

※当設定はユーザーマスタで設定された実行権限によってご利用いただけるユーザーが限定されます。
操作可能な実行権限は、マスタメンテナンスマニュアル_派遣先用の実行権限一覧をご参照ください。



Ver.1.0.5

Last up date:24/11/10

1.承認フローについて

□承認フロー設定とは

派遣照会や契約確認などの処理を1人のユーザーで完了するのではなく、複数の方に確認・承認していただくためのフローの設定です。

□契約確認の承認フローの例

- A** 派遣会社からの契約依頼は、「契約確認者」に届きます。
- B** 契約確認者のみの処理で契約確定とせず、次に契約内容を確認するユーザーや承認者グループへ承認依頼をすることが可能です。
- C** また、承認依頼を受けたユーザーも、さらに別のユーザーや承認者グループへ承認依頼をすることが可能です。
- D** 最終承認者が派遣会社へ提出することで、契約確定となります。



上記は、契約確認の承認フローの例ですが、見積依頼や派遣照会も同様に承認フローを設定できます。

その場合「ユーザー①」は「起票者」となります。

マスタの設定次第で、運用に合わせたさまざまな承認フローを設定できます。

次のページより、代表的な設定パターンと設定方法を紹介します。

2. 承認フローの設定方法

□承認フロー設定方法

ポータルサイトの「企業設定」の「マスタを登録・編集する」をクリックし、
「ユーザーマスタ」の「編集登録」をクリックすると、「検索条件設定：ユーザマスタ」画面へ
遷移します。承認フローを設定したいユーザを検索し、「選択」ボタンをクリックすると、
「ユーザマスタ編集」画面へ遷移します。下へスクロールすると、承認フロー設定が表示されます。



検索条件設定:ユーザマスタ

検索条件を指定してください。

☒ ユーザ検索

☒ ユーザID | kanda01

☐ ユーザ名 | 姓

☒ 有効のみ

検索結果

ユーザID	ユーザ名	事業所	部署	承認者グループ	有効フラグ	ロック	選択
kanda01	神田 一郎	東京事業所	営業部	派遣統括窓口	有効	ロック	<input checked="" type="checkbox"/>

検索条件を入力した後に「検索」をクリックし、設定したい対象のユーザを選択する。

承認フロー設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。

■次承認者初期値

次承認タイプ: 承認者グループから (ここでも選択された次承認タイプで、次承認者を検索します。)

次承認: 検索 神田 一郎

承認可否フラグ: 可

最終承認可否フラグ: 可

派遣会社選択可否: 可

初期値設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。使用しない場合は、空白にしてください。

■タイムカード承認者初期値

タイムカード承認者No1: 指揮命令者が設定されます。

タイムカード承認者No2: 検索 2222 神田 二郎

タイムカード承認者No3: 検索

■コストセンター関連初期値

コストセンター: コード (半角20文字以内) コメント (半角250文字以内)

戻る アカウントロック解除 パスワード初期化 **確認画面へ**

この内容で登録します。以上の内容でよろしければ登録をクリックしてください。内容を再編集する場合は戻るを、内容を破棄する場合は中止をクリックしてください。

中止 戻る **登録**

□各項目について

- 次承認タイプ : 「承認者グループから」「最終承認者」「ユーザ」のいずれかを選択
- 次承認 : 次承認タイプの選択により該当するものを選択
「承認者グループから」を選択 → 該当する承認者グループ
「最終承認者」を選択 → 「派遣会社へ提出」
「ユーザ」を選択 → 次の承認先に該当するユーザ
- 承認可否フラグ : 派遣照会や契約確認などの「承認先設定」画面で、当該ユーザを次承認者の選択肢として表示させるかを選択
「可」 (= 表示する) もしくは「否」 (= 表示しない)
- 最終承認可否フラグ : 当該ユーザに最終承認 (派遣会社へ提出) を行う権限の付与の選択
「可」 (= 付与する) もしくは「否」 (= 付与しない)
※「次承認タイプ」が「最終承認者」の場合は、「最終承認可否フラグ」を「可」にする必要があります。
- 派遣会社選択可否 : 当該ユーザが「見積依頼」「派遣照会」の起票時および承認時に、提出先となる派遣会社を選択することが可能かを設定
「可」 (= 選択可能) 「否」 (= 選択不可)

□承認者グループ設定方法

承認フローで承認者グループを利用することにより、承認者であるユーザーが異動した際の、マスタデータメンテナンス負荷軽減化を行うことができます。

※詳しくは、「3. 承認フローの設定パターンについて □承認フローの設定パターンについてくパターン①>」を参照ください。

ポータルサイトの「企業設定」の「マスタを登録・編集する」をクリックし、

「承認者グループマスタ」の「新規登録」をクリックすると、「承認者グループマスタ登録」画面へ遷移します。

承認者グループID、承認者グループ名称を入力し、承認者グループに登録したいユーザーを検索して登録を行います。



承認者グループマスタ登録

入力項目を登録してください。

注:項目名に※がついているもの、背景が色付きの項目は入力必須項目です。

■登録フォーム		Reset
※承認者グループID (半角100文字以内)	hakenkanrig	→ 「承認グループID」と 「承認者グループ名称」を 入力する。
※承認者グループ名称(日本語) (半角100文字以内)	派遣管理グループ	
承認者グループ名称(英語) (半角24文字以内)		

承認者グループ所属ユーザ登録

承認者グループ所属ユーザを登録してください。

所属ユーザ項目を追加する場合は、所属ユーザ追加をクリックしてください。

注:所属ユーザは、1人以上登録してください。

■承認者グループ所属ユーザ登録		
※所属ユーザ1 (半角100文字以内)	検索	kandauser 神保 太郎
所属ユーザ2 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ3 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ4 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ5 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ6 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ7 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ8 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ9 (半角100文字以内)	検索	
所属ユーザ10 (半角100文字以内)	検索	

所属ユーザ追加

戻る

確認画面へ

→ 「検索」ボタンをクリックし、
設定したい対象のユーザを
選択する。

→ 「確認画面へ」をクリック
内容確認画面で「登録」ボタン
をクリックして登録完了です。

この内容で登録します。
以上の内容でよろしければ登録をクリックしてください。
内容を再編集する場合は戻るを、内容を破棄する場合は中止をクリックしてください。

中止

戻る

登録

3. 承認フローの設定パターンについて

□承認フローの設定パターンについて

代表的な設定パターンの例を紹介します。

様々な設定が可能ですので、運用に合わせてご設定ください。

※掲載している以下の図は、ユーザマスタの「承認フロー設定」の設定方法を説明しています。

(例)

<ユーザマスタの承認フロー設定>

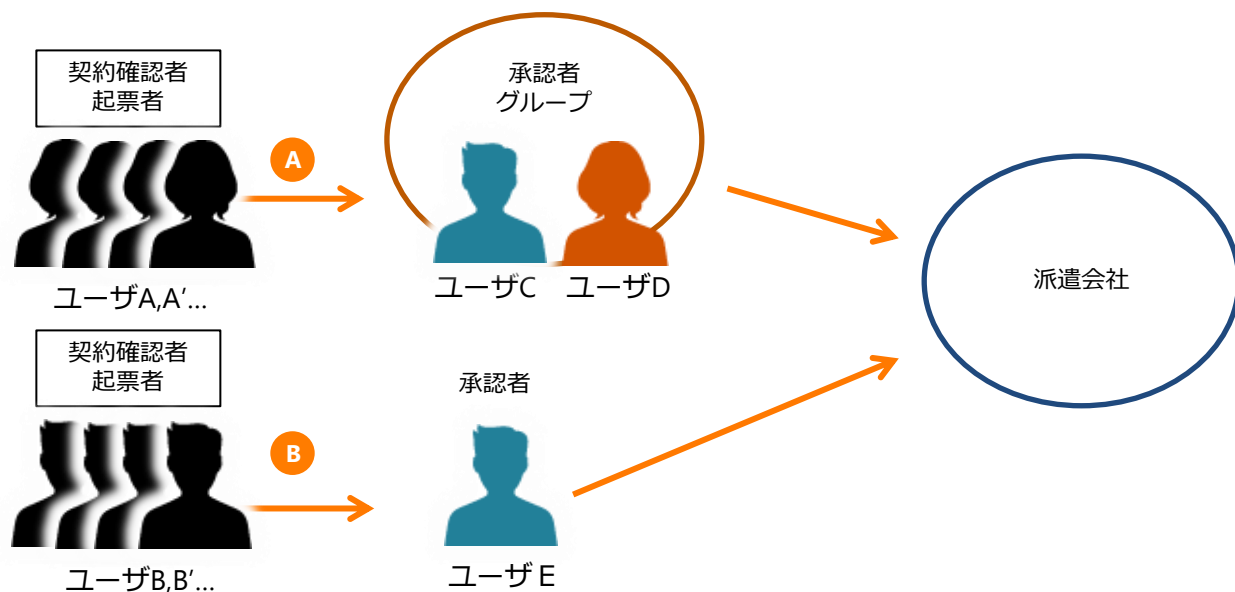
ユーザA (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	可
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	可

承認フロー設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。

■ 次承認者初期値	
※ 次承認タイプ	承認者グループから <small>ここで選択された次承認タイプで、次承認者を検索します。</small>
※ 次承認	<input type="text" value="人事部"/> <input type="button" value="検索"/>
※ 承認可否フラグ	可 ▼
※ 最終承認可否フラグ	可 ▼
※ 派遣会社選択可否	可 ▼

<パターン①> 管理部門集中管理
人事や購買等に承認を一括しているケース



※ユーザA,A'...：承認者の異動が発生した際は、承認者グループの登録メンバーを変更するのみで、ユーザA,A'...のユーザマスタは変更不要となります。（上図 **A**）

ユーザB,B'...：承認者の異動が発生した際は、承認者情報を再登録する必要があるため、ユーザB,B'...のユーザマスタの変更が必要となります。（上図 **B**）

ユーザA,A'... (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可or否
派遣会社選択可否	否

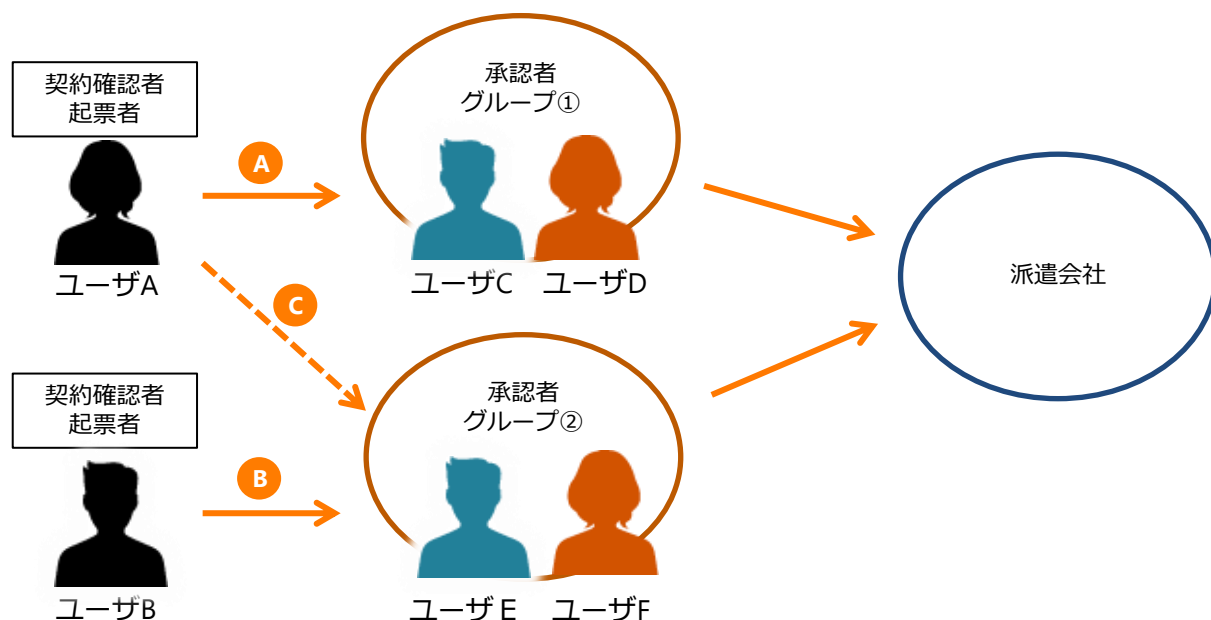
ユーザC・D (承認者グループ所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

ユーザB,B'... (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	ユーザ
次承認	該当するユーザ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可or否
派遣会社選択可否	否

ユーザE	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

<パターン②> 複数階層管理

事業所ごとやエリア総務ごと等、承認先を分けているケース



通常、ユーザAは承認者グループ①へ、ユーザBは承認者グループ②へ承認依頼するようユーザマスタで設定しますが（上図 **A** と **B**）、派遣照会や契約確認時のイレギュラーが発生した際に、第2選択肢となる自部署「部署マスタ」の次承認へ承認依頼を行うことができます。（上図 **C**）

ユーザA・B (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	否

ユーザC～F (承認者グループ所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

※ユーザA・Bが第2選択肢となる別グループに承認を依頼するケースの場合

自部署「部署マスタ」の承認フロー設定

次承認タイプ：承認者グループから

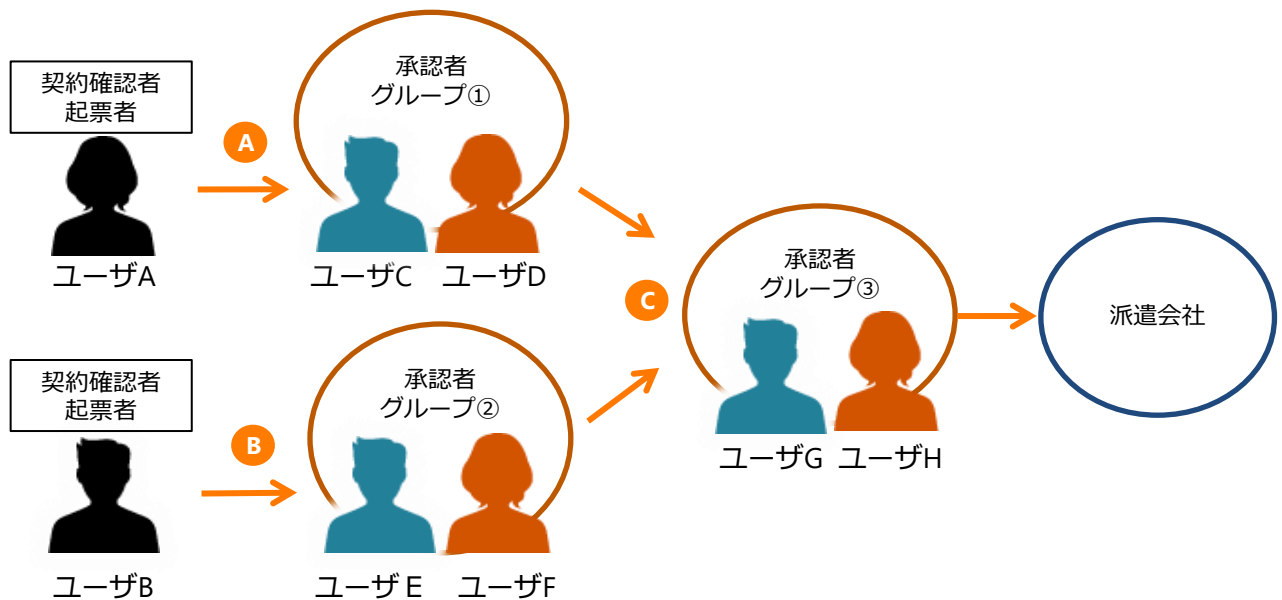
次承認：第2選択肢となる承認者グループ

※承認者グループは初期設定で最大2つ(ユーザマスタで設定した承認者グループ、

部署マスタで設定した承認者グループ)まで登録できますが、第3選択肢に振り分けたい場合は、契約確認時にユーザを指定する必要があります。

<パターン③> 複数階層管理

所属長の承認後、人事、購買、エリア総務などに承認を集約するケース
(何段階でも階層を組むことは可能)



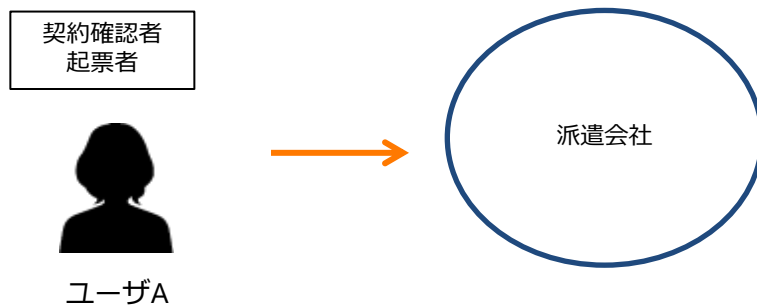
ユーザA・ユーザBはそれぞれの所属長の承認者グループへ承認依頼し（上図 **A** と **B** ）、承認者グループ①と承認者グループ②は、派遣統括部書である承認者グループ③へ承認依頼を行う（上図 **C** ）など、階層を経て派遣会社へ提出します。

ユーザA・B (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	否

ユーザC～F (承認者グループ①②所属ユーザ)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

ユーザG・H (承認者グループ③所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

＜パターン④＞ご自身で完結
現場裁量において承認を経ず、派遣照会・契約確認などを行うケース



契約確認者・起票者が直接、派遣会社へ提出し、対応完結とします。

ユーザA (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可